



TITLE:

哀辞

AUTHOR(S):

京都大学経済学会

CITATION:

京都大学経済学会. 哀辞. 経済論叢 1997, 159(3)

ISSUE DATE:

1997-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/45128>

RIGHT:

經濟論叢

第 159 卷 第 3 号

哀 辭

故小野一一郎教授遺影および略歴

異動をめぐる労使協議の変遷(3)……………久 本 憲 夫 1

「ブリティッシュ亜麻会社」の事業展開(2)……林 妙 音 19

児童労働に関する経済学的諸議論の検討……………石 井 一 也 34

中国のマクロ経済政策スタンスに関する
政治経済学的アプローチ：実証と理論……………鍾 非 54

1950-60年代日本自動車工業における
技術導入過程の史的數量分析(1)……………矢 野 剛 72

追 憶 文

小野一一郎先生の学風……………本 山 美 彦 94

小野先生の仕事と「雑談」……………松 野 周 治 98

学 会 記 事

平成9年3月

京 都 大 學 經 濟 學 會

哀 辞

本学名誉教授 小野 一一郎先生は 去る平成8年12月7日に逝去されました ここに謹んで哀悼の意を表します

先生は 昭和24年に京都大学経済学部をご卒業になり 大阪市立大学経済研究所助手 京都大学経済学部助手 同講師 同助教授を歴任され 昭和45年に本学の世界経済論担当教授に就任され それ以来平成元年のご退官まで 講義および演習や研究発表を通じて 多くの学生 大学院生の指導に尽力されました また大学行政の面でも 評議員 経済学部長として 大学紛争で大きく揺れる学内体制を正常化させるあらゆる努力を払われ 大学の発展に大きく貢献されました

本学ご退官後は 阪南大学商学部教授として貿易論 外国経済論を担当され 阪南大学図書館長として同大学図書館の明治文献の充実に重要な役割をはたされました 平成8年に同大学を定年退職された後ご逝去されるまで 研究教育と大学行政に全力を捧げられました

先生は 国際金融論 日本貨幣制度論 日本植民地論 日本貿易論の分野で非常に評価の高い業績を残されました なかでもアジアにおけるメキシコドルの流入と消滅過程を刻銘に追った一連の研究は 貨幣制度なるものが つねに 国際的な規定性を受けるという視角を鮮明に打ち出したもので 学会に大きな衝撃をもって受けとめられました この視角から日本の金本位制度の成立と崩壊過程を論理化した研究も この分野での古典の位置を占めるようになっていきます また戦前の日本経済を 当時の日本が置かれていたアジアにおける位置から逆照射するという新しい手法を導入され それは今日の学会の動向を先駆的に指し示したものでありました

研究教育分野で先生は多くの俊秀を育て上げられ 学会はもとより経済界 言論界にも先生の門下生による強い人脈ができています

本学会のためにも 先生は 本誌にいくつかの貴重な論文をお寄せくださったほか 評議員長としても ご尽力いただきました ここに感謝の意を表するとともに 先生のご冥福を心からお祈り申し上げます

平成9年6月

京都大学経済学会